

日時：令和5年2月1日（水）18:00～19:30

場所：光市立大和コミュニティセンター



第3回目のワークショップとして、「協働的な学びの確保～小学校の再編について～」の話し合いを行いました。協働的な学びを確保する手法として、「合同学習の日常化（パターン①）」「4小学校の再編（パターン②）」の2つのパターンを比較検討し、さまざまな角度から意見が交わされました。今回のワークショップでは38名の参加がありました。

## 第3回ワークショップのプログラム

1. 前回までの振り返り  
今日のテーマについて（説明）
2. ワーク 意見交換、整理
3. 共有、報告



塩田小学校 吉田校長

教育総務課 吉永課長

**意見**

- いいね!と思ったこと
- 大切にすべき!と思ったこと
- こうしたら?というアイデア
- もう少し詳しく!と思ったこと

**質問**

話し合いの中で解決することもあるかも?

最初に、現在行っている合同学習や、小学校の再編についての説明を聞きました。



今回も、感染症予防対策のため1階と2階に分かれて話し合いを行いました。（2階の様子）

**まとめ方 (例)**

	メリット	デメリット	質問
合同学習			
4→1再編			
意見・感想	質問	解決	未解決

**視点 (例)**  
学び、児童、教職員、地域連携、組織、など

意見や質問を書いたふせんを共有しながら議論を深め、模造紙を使って整理していきました。



# グループの話し合いの成果（一部）



## 発表内容（一部）

班	発表内容
1	●小学校同士がこんなに合同学習していることに驚いた。 ●合同学習のメリットが最初にたくさん出た。 ●4小が1小になったら、先生の数が減るのではないかな。 ●今後に向けて、4小の状況をしっかり把握してほしい。
2	●地域の歴史はちゃんと伝わっていくのだろうか。このあたりは今、やまと学園として動き出しをしている。 ●一人ひとりの個性や資質をどう引き出していか、が重要。 ●子どもを第一義に考えたとき、パターン②で小学校が先にくつついた方が、やりやすいのかな、というところで話が終わった。
3	●岩田・三輪は、交流が少なく、そもそも交流があることをご存じない。 ●4小学校を1つに再編するには、文化の違いをうまく水合わせしなければ。 ●教員の負担が大きいの、教育委員会のフォロワーをしっかりと。 ●4小がいきなり一緒になって、先生がポンと減ったら、あまりうまくいかないのではないかな、というのが最終的な結論になった。
4	●合同学習を充実するには、環境が整っていないといけない。 ●一番は子どもたちが、毎日いろんな子と接することが、楽しい時間になるのではないかな。 ●地域の方のかかわりも増えるし、文化を学べるチャンスも増える。 ●4小が1小になることが良いのではないかな、という話になった。
5	●少ない人数だとしてもできない授業（体育）がある。 ●束荷神舞や石城太鼓など地域の伝統芸能が、4小から1小にしたとき、どうなっていくかが課題として出た。 ●願いとしては、早めに合同化して一緒に子どもたちが学べること。
6	●何よりも、もうすでに学級が1人の学校もある。1日も早く、多くの子どもたちと一緒に関わりながら授業を、という保護者からの願いがあった。 ●それを考えたら、やまと学園はすぐにでも開始した方が良いのではないかな、という意見でまとまりつつあった。
7	●合同学習について、地域の課題は卒業生が出身校への思いが強いこと、児童の課題は「自分は〇〇小学校だから」という児童自身の壁をどうするか。 ●願いとしては、早めにパターン②に移行する方が良いのではないかな。今複式のところは、早目に複式を解消することが大切ではないかな。



質問への回答を行いました。  
（学校教育課 門岡主幹）

おわりのあいさつ  
大事な議論が出来ました。部会でさらに深めていきたいと思っております。  
学校運営部会 河本部会長  
（大和中学校校長）



### 次回のごあんない （第4回ワークショップ）

日時：令和5年3月4日（土）  
10:00～11:30

場所：大和コミュニティ  
センター（大ホール等）

お問い合わせ：光市教育委員会 教育総務課管理係（担当：清水）

TEL：0833-74-3601 FAX：0833-72-7202